

平成 28 年熊本地震における川崎市の対応について

1 地震活動の概要

(1) 発生日時

平成 28 年 4 月 14 日 21 時 26 分（前震）

平成 28 年 4 月 16 日 1 時 25 分（本震）

(2) 震源、震度等

熊本県及び大分県を震源に、震度 7 の前震及び本震、震度 6 強の余震を 2 回、6 弱の余震を 3 回、震度 3 以上の余震を 380 回以上観測

(3) 被害

■人的被害

死者 69 名（関連死疑い含む）、行方不明者 1 名、負傷者 1,684 名

■住宅被害

全壊 7,996 棟、半壊 17,866 棟、一部破損 73,035 棟



（熊本城飯田丸五階櫓石垣崩落の様子）



（益城町の倒壊家屋）

2 本市の被災地支援業務概要

発災当初から現在に至るまで、川崎市では DMAT や保健師の派遣、上下水道事業、避難所運営支援、応急危険度判定事業、罹災証明事務等、国や県市など様々な枠組みの中で被災地への支援を行いました

このうち避難所運営支援については、熊本市において最大 10 万 8 千人（254 避難所）が避難するに至ったため、平成 28 年 4 月 27 日～5 月 18 日までの期間、熊本市中央区内の避難所 13 箇所へ常時 28 人、延べ 112 名の職員を派遣し、学校関係者や熊本市職員、地域の方々や避難者とともに、避難所運営業務を行いました。